

令和2年度 ゲノム創薬基盤推進研究事業 公募説明会 Q & A

1

◆ 研究開発提案書について（公募説明資料20ページ）

Q 1. 様式 2 のデータマネジメントプランにおいて、データサイエンティストの記載が求められているが、データサイエンティストとバイオインフォマティシヤンの両方を記載するのか。

A 1. どちらか一方でも、両方記載いただいても問題ありません。

Q 2. 海外研究機関の研究者を研究開発体制に加えて問題ないか。

A 2. 研究協力者あるいは経費配賦なしの研究開発分担者としての参画であれば、問題ありません。研究経費の海外流出がないようにお願いいたします。

Q 3. 本事業は安全保障貿易管理の対象になるか。

A 3. AMEDの課題は安全保障貿易管理に沿ったものになります。公募要領の安全保障貿易管理に関する記載をご参照ください（公募要領4～5ページ）。

◆ 求められる成果について（公募説明資料12、14、16ページ）

Q 4. C領域に関しては、ゲノム診断、ゲノム治療に資する研究とあるが、C-1課題では、ゲノムはDNAでもRNAでもどちらでもよいのか。薬物治療と遺伝子に関わるデータベースであればどちらでもよいのか。

A 4. 求められる成果が達成されるのであれば、DNAでもRNAでもどちらでも問題ありません。

2

◆ 採択条件について（公募説明資料12、14、16ページ）

Q 5. 前回平成29年度ゲノム創薬基盤推進研究事業のB領域公募では、「サル及びヒトのpre-mRNA/mRNAのデータベース構築」と明記されているが、今回構築するデータベースの種に関しては、どのような種が求められるのか。

A 5. 前回カニクイザル及びヒトのpre-mRNAのデータベースを構築しているため、今回構築するRNA統合データベース（スプライシングバリエーションや非コードRNA等を包含）の種に関しては、カニクイザル及びヒトが望ましいです。

Q 6. B-2課題に関して、どのような疾患を対象にした包括的RNAデータベースを想定しているのか。

A 6. 基本的には、コントロール（健常）を対象とした包括的RNAデータベースの構築を求めています。これに加えて疾患を対象にしたデータを盛り込んでいただくことは問題ありません。

Q 7. 疾患を対象とする公募課題は、B領域ではなく、C領域ということか。

A 7. そのとおりです。

Q 8. C領域では対象疾患は想定されているのか。例えば、がん、循環器疾患、急性期疾患、慢性期疾患などは対象となり得るのか。

A 8. C-1課題では、特に決まりはありません。C-2課題では遺伝性疾患に限定しています。

3

Q 9. C-2課題に関して、遺伝性疾患と明記しているが、メンデル遺伝病（単一遺伝子疾患）を想定しているのか、それとも孤発性の疾患も含まれるのか。

A 9. 本事業で求めている遺伝性疾患とは、世代を通して伝搬する家族性の遺伝子疾患を想定しています。

Q 10. C-2課題に関して、ドライ解析中心のハイスループット研究は本事業の対象となるか。

A 10. 我が国では、ウェットでVUSの機能を解析する研究が遅れています。そのため、本事業では100%ドライ研究は除外しますが、ウェット解析中心のハイスループット研究にドライ研究計画を盛り込むこと自体は問題ありません。

Q 11. C-2課題で求められる成果は、VUSを解決するためのハイスループットスクリーニング系の構築とあるが、どのくらいの数のハイスループットスクリーニング系を想定しているのか。

A 11. 遺伝子の数は限定していません。1回のスクリーニングで数十～数百の変異を評価できることが望ましいと考えています。

Q 12. 希少疾患では解析対象となる遺伝子の数は多いが、一遺伝子あたりのVUSを含めたバリエーションの数が少ない。対象とする遺伝子を絞るとバリエーションが少なくなってしまう。ハイスループットな解析手法が求められているが、これに対する対応として、現時点ではVUSではないが、今後VUSと判定される可能性があるものも含めて解析対象として問題ないか。

A 12. 各希少疾患で得られた遺伝子変異を組み合わせて網羅的に解析できるハイスループットスクリーニング系を構築できるのであれば問題ありません。

4

- Q 1 3. モデル生物を利用したVUS機能解析系は、当該変異の未知の機能も含めた解明が可能であることに特徴がある。難点はハイスループットの達成が厳しいこと。モデル生物を利用したVUS機能解析は申請の可能性はないのか。
- A 1 3. 同じ解析方法が多数のバリエーションに適用可能であり、Q11で回答した様に数十～数百の変異の評価を連続して実施可能な系であれば、本課題の対象となると考えます。